

令和4年1月5日

埼玉医科大学国際医療センター

病院長 佐伯 俊昭 殿

埼玉医科大学国際医療センター

医療の質・医療安全監査委員会

委員長 長尾 能雅

令和3年度第1回医療の質・医療安全監査報告書

埼玉医科大学国際医療センター医療の質・医療安全監査委員会規則第3条に則り実施した監査結果につき報告します。

監査は、担当業務責任者等からの報告及び質疑応答により実施しました。

記

1. コロナ渦においても安全とクオリティの両立ができていることは素晴らしい。
2. コロナに対し地域のニーズに十分に応えられていることは素晴らしい。
3. 工夫して感染対策を行い、手指衛生遵守率が向上している。しかしクラスターが発生した事実は重く受け止め、引き続き手指衛生遵守率向上を目指して欲しい。
4. リードバックとチェックバックの意味の違いを職員がどれくらい理解しているか、また今後のリードバック向上率を確認したい。
5. 患者確認手順のなかにデジタルに頼る部分がどのくらい占めているのか確認する必要がある。
6. 臨床工学技士が部署間の連携および連絡が弱いと指摘される現状を把握し、問題点と改善案を臨床工学技士とともに考えていただきたい。
7. 診療科で行うカンファレンスを標準化できるか検討いただきたい。
8. 鎮静時の二次救命処置資格者立ち合い確認をタイムアウトのときに行っていることは素晴らしい。次回その成果を教えていただきたい。

以上